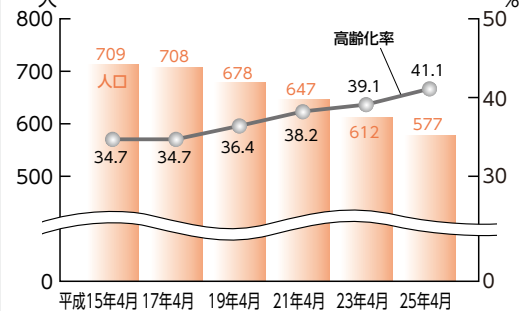


阿波地域のデータ

■面積 42.07km²
(うち94パーセントが山林)
■人口 578人
■世帯数 232世帯
■集落数 8集落
■主な産業 農林業
(平成25年11月1日現在)



阿波地域の人口と高齢化率



地域の特性を生かして
古里を未来へつなぐ

人口減少が続く中山間地域。
平成15年4月、709人だった阿波地域の人口は、平成19年4月には678人に減少しました。また、高齢化率（65

進む過疎・少子高齢化
古里を未来へつなぐため
エコ活動で地域づくり

歳以上の人口が総人口に占める割合）も36・4パーセントにまで上昇し、住民の間に「このままでは阿波は無くなってしまうのではないか」という危機感が募っていきました。そして「古里を残していくために、何とかしなければ。」

阿波地域の取り組み

- 平成20年度
阿波まちづくり協議会を結成
- 平成22年度
阿波まちづくり協議会が「エコビレッジ阿波構想」を策定
- 平成23年度
・阿波まちづくり協議会・あばグリーン公社・NPO法人・地元企業・市で「エコビレッジ阿波推進協議会」を結成
・アンケートを実施
- 平成24年度
「エコ」をキーワードに活動がスタート
【主な取り組み】高齢者の外出支援、アヒル農法による米づくり、木の駅プロジェクト、環境学習(ごみ減量の取り組み)など
- 平成25年度
【主な取り組み】高齢者の外出支援、アヒル農法による米づくり、木の駅プロジェクト、都市との交流など

阿波地域の全戸を対象に「暮らしの困り事」と「自分たちに支援できること」についてアンケートを行い、病院などへの送迎と除雪作業などに困っていて、自分たちに支援できることが分かりました。その結果「できることから始めよう」を合言葉に、エコ活動を柱とした地域づくりがスタートしました。そのうちの、3つの活動を紹介します。

今、わたしたちが動き出さなければ、手遅れになってしまう」という意識が芽生え始めました。そこで、町内会を中心に話し合いを重ねた結果「阿波には、広大な森林、四季折々の豊かな自然、おいしい空気など宝物がたくさんある。これらの宝物を守りながら、古里を未来へつないでいく。そんな取り組みを、みんなで作っていかうじゃないか」という思いでまとまりました。

**住民のニーズを探り
できることから始める**

平成20年4月、市連合町内会阿波支部を中心とした「阿

波まちづくり協議会」が結成され、平成22年、環境（エコロジー）を切り口として村（ビレッジ）の再生を目指す「エコビレッジ阿波構想」がまとまりました。

そして、構想を進めていくため、平成23年5月、阿波まちづくり協議会を中心に、あばグリーン公社、NPO法人、地元企業、市など9団体によって「エコビレッジ阿波推進協議会」（以下「推進協議会」）が結成されます。



▲熱心に話し合う
推進協議会のメンバー

あば
阿波の地域づくりから
見えてくるもの

特集
新しい集落の

カタチ

過疎・少子高齢化が進む中山間地域には、集落を維持していくことが難しくなりつつある所があります。

市の北部に位置する阿波地域も、そんな地域の一つです。

阿波地域では、集落を維持していくための活動を、地域ぐるみで積極的に行っています。

今月は、阿波地域が取り組む地域づくりを紹介します。

